

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6年3月1日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7	6	1		14人

前回の改善計画	新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送り、初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送り、見たらサインするシステムを継続する。情報が不十分なことは前提なので関わりながら新しい情報を得ていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送っている。初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	9	2		14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	7	2		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	6	2		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	5	4		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用開始前に、ミーティングや連絡ノート等で情報を共有出来ている。 分からない事は他の職員に聞く。 連絡ノートに記載したり前任ケアマネからの情報を職員が見られる所に置いている。 体調の変化など気付いた事は連絡ノートや記録に残している。 関わりを持つその都度適切な接し方を教えてもらっているので、適切に接することができる。 まだ慣れていない利用者にフロアでの声かけが丁寧に出れている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 朝のミーティング内で話題に上がることもあり、その場合はその場にいた職員に情報が限られてしまうこともある。 利用者が多い時はなかなか関わりが持てない。 家族への配慮などは行き届いていないこともある。 フェースシートの情報が不十分なことが多々ある。(夜の習慣、トイレの回数、睡眠状況、食事の好み等) ショート利用時の夜間の情報が足りない。 1人1人の個人データを把握できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送り、初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送り、見たらサインするシステムを継続する。情報が不十分なことは前提なので関わりながら新しい情報を得ていく。現場で知りたい項目をあらかじめ伝えて情報を得ていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 3月 1日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6	6		14人

前回の改善計画	状態が変わったら目標を見直す。
前回の改善計画に対する取組み結果	状態の変化を職員同士で共有はしているが、目標の見直しの言語化が出来ていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	3	8	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	6	6		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	4	8		14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	7	3	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の状態に変化があった時にケアポイントを変えたり他職員の状況を発信し見直し、経過を確認することができた。 ケアポイントの変更や、支援方法を適宜変更して行うことができた。 ケアポイントに添って関わりその内容をミーティングで情報交換している。 利用者の状況を職員間で良く共有出来ている。 実際の支援で得た情報を会議の時やその都度リーダーに伝えている。 出来る事、できない事を把握し対応している。 利用差に対してはその場で良かれと思う対応をして喜ばれていると思う。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
不穏になった時どう対応したらいいか不安である。 利用者がうまく「〇〇したい」を表現できないため、わかりづらい。 目標や「〇〇したい」をうまく聞き出せていない。何度もきくと機嫌を損ねてしまう。 1人1人の目標を把握できていないため、目標を目指した関わりが出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
状態変化の際にケアポイントを変更することを職員間で相談しながら行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 3月 1日

3. 日常生活の支援

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	8	1		14人

前回の改善計画	情報伝達するツール（口頭、タブレット、職員会議、連絡ノート、ミーティングなど）を用いて、大事な情報は繰り返し伝える。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報を共有し、情報を生かして支援出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	7	5	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	8	1		14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	8		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	7			13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	8	2		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 状況に合わせた食事や体調の変化に気づき共有することは出来ている。 本人の状況に合わせた基礎的な介護はできている。 その日の状況に合わせて入浴の支援の仕方を変えたり、食事の提供をしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らし方を10個以上把握できていない。以前の事まで掘り下げて考えてはいない。 情報がきちんと伝わっていないことがある。体調の変化に気付けないことがある。 タブレットや連絡ノートを職員が読んでおらず情報が伝わっていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者の変化を職員間で共有し支援につなげる。
---------------	------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 3月 1日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4	8	2		14人

前回の改善計画

今ある資源の有効性を見直し、連携を継続していく。
家族より、自宅での過ごし方を聞いたら情報を職員間で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者ごとに地域資源のニーズや必要性が違うことが分かった。使える資源は積極的に利用し連携している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	5	2	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	3	6	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	4	6	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	1	5	5	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

全利用者ではないが、家族や地域の方等、本人と関わりのある人との関係性を理解することが出来た。以前からの人間関係を壊さないよう努めている。送迎時など家族からの情報が良く得られている。独居の利用者の家族とはLINEで連携できている。地域との連携を記録などで共有出来ている。利用者の性格、生活スタイル、人間関係などは理解していると思う。GPSを活用し活動範囲、時間を把握している。本人がよく行く食堂、コンビニなどと連携を取っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

自宅で過ごせるような支援、そのための地域資源の把握が出来ていない。家族が自宅を希望していない。直接接していない時間、どのように過ごしているかはあまり理解していない。家族との会話がから情報を得ることは出来るが、こちらから突っ込んで聞くことがなかなかできない。周りの環境が理解できていないため、民生委員や地域の資源などは把握できていない。家族が地域とのかかわりを求めているのかかわらない。資源を利用している人は限られる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

今ある資源の有効性を見直し、連携を継続していく。
家族より、自宅での過ごし方を聞いたら情報を職員間で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 3月 1日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	8	2	1	14人

前回の改善計画
訪問を引き続き増やしニーズに即した支援をしていく。
コロナ状況を見て、地域のイベントに参加できるときはしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
月200回以上の訪問により訪問体制強化加算が継続できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	5	4	3	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	5	3		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	9	1		14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	6	1		14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員間の情報共有や自ら気づいたことも職員に伝え柔軟に支援している。
変化には皆よく気付いている。状態に応じた支援ができています。
訪問体制強化加算を継続できている。ニーズに応じて通い、訪問、宿泊がそれぞれ出来ている。
独居の人は地域の資源を使って見守りなど支援している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナはだいぶ少なくなったがまだ安心できない。
毎日利用する人が多すぎる。
地域の行事に参加していない。
地域の資源をうまく使えていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
「多機能性」「地域連携」を意識して支援していく。
ニーズと現場での状況をすり合わせしながら調整し支援をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 3月 1日

6. 連携・協働

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	4	6	1	14人

前回の改善計画	会議の内容をタブレットの記録に入力し、職員間で情報を共有する。職員会議でも発表していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	連携・協働などは職員に関心を持ってもらえるように記録・会議・連絡ノートを通じて報告している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		3	2	9	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	2	10	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			5	9	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1		1	11	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員間で情報を共有している。（記録、連絡ノート、口頭、ミーティング、会議） 消防の活動に参加できた。 爪切りボランティア サービスに変化があった時や入院、入所時、福祉用具、病院等との連携はしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 他機関との関わりは、個人的には出来ていない。 地域各種機関の活動情報が入って来ない。どこで情報を得られるかわからない。 地域の活動やイベントの参加は出来ていない。 地域住民の事業所訪問は出来ていない。（コロナ感染予防の為外部の接触を避けている）
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 連携・協働の内容をタブレットや連絡ノートに記入して共有する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 3月 1日

7. 運営

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	8	4		14人

前回の改善計画	提案や意見を職員会議などで自由に発言できる雰囲気作り。 私語を少なくし利用者中心の会話をするを継続していく。 意見、苦情などを職員間で共有し改善につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	会議では自由な発言を遮ることなく大切にしている。会議や連絡ノートで意見や苦情を職員間で共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	4	5	3	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	10	1		14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		8	4	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	3	5	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>自分の意見を個々に話したり、利用者の意見を聞き、気持ちの良い介護に繋がるように努力している。 会議で意見を言いやすい。 会議や日常でも、自分の思いは自由に発言できている。 職員同士の会話が多い分、情報共有はできている。気付いた点はその都度意見を言っている。 提案や意見など会議で取り上げている。 意見や苦情は真摯に受け止め改善に取り組んでいる。会議で共有している。 必要なケースは地域連携が良くできている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>私語が多い。利用者中心ではなく、個人的な話をしてしまうことがある。 私語の声が大きい。仕事に対する意識が低い。 地域からの苦情や意見があるのかわからない。 事業所のあり方については意見が言えない。 会議で自由に発言したり相談する雰囲気ではない感じ。 集中力が低く時間をうまく使えていない。 業務改善やマイナス面は言いにくい。 苦情に対してはその時だけで反映されない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>提案や意見を職員会議などで自由に発言できる雰囲気作り。 職員同士の私語（個人的な会話）を少なくし利用者中心の会話をするを継続していく。 意見、苦情などを職員間で共有し改善につなげる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 3月 1日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	10	1		14人

前回の改善計画	事故発生時は、事故報告書をもとにリスクについて検討し再発を防いでいく。 事業所目標の一つに、質の向上を目指すことを挙げた。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議で事故報告の詳細を職員間で共有している。 質の向上は一部出来ているが、全員が色々な支援の必要性や意味を理解し行動につながられているわけではない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	4	3	5	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	4	5	13
③	地域連絡会に参加していますか			1	13	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		4	5	5	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ヒヤリハット及びヒヤリハットの前の気づきや変化に気づけるように、日々の業務に生かすことができた。 事故が起きそうな行動をとらないように注意している。 職員会議で職場内研修をしている。 自宅での転倒も事故報告書を作り家族に危険性を伝えている。 事故が起きるリスクを考え、ルール化している。 利用者の特徴特性を知ったうえで支援している。 リスクマネジメントについては事故の情報を共有し、再発防止を図っている。 会議の中で介護方法の見直しを行っている。 研修に参加しスキルアップにつなげた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>研修に参加できる体制がとられていない。時間もなく、個人的な時間も取れない。 事故後は職員間で話しあい対策が取れたが、別の危険性のリスクを考えることは後回しになっていた。 基本的な動作の確認を怠っている時がある。 日々の業務で手いっぱいである。 地域連絡会に参加できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>事故発生時は、事故報告書をもとにリスクについて検討し再発を防いでいく。 ヒヤリハットがあったら、朝のミーティングで共有し注意を促したり、連絡ノートに記入する。 職員数に余裕があれば、外部の研修にも参加できる体制を作る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 3月 1日

9. 人権・プライバシー

メンバー 亘、矢島、三ッ森、田村、福田、大野、ススマ、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	9	3		14人

前回の改善計画	成年後見人制度が必要な利用者がいれば学習の場を設ける (現在は対象者はいない)。 職員の声の大きさ、トーン、話す距離にも配慮する (特に排泄のことを話す時)。頻回に注意を喚起していく。あうんの呼吸で動けるよう目配せし合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	時間がなく対象者もいないため成年後見人の学習はできていない。 職員の声のトーンが大きくなるよう注意を喚起している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	3			14
②	虐待は行われていない	11	2	1		14
③	プライバシーが守られている	5	5	3		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1		9	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	5	4	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>あうんの呼吸での動きや協力ができていることもある。 不穏気味の利用者に対し、その都度職員間で情報共有し、目配せ、気配せして支援できている。 利用者の次の行動を予測し伝えあえることが増えた。 好き嫌いはあっても同じように支援している。 基本的人権を守っている。利用者に対し適切な態度を常に心がけている。 身体拘束、虐待は行われていない。 身体拘束、虐待の内部研修を行い、理解を深めた。 音楽を流し職員同士の申し送りの内容が聞こえないようにする。 排泄の時、職員間では「鈴待ち」という言葉を使っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>会話の声が大きく、個人情報の部分が他の利用者に聞こえてしまっている。 声の大きさはそれぞれ違いがあり気持ちが緩むとうっかり大声になる。声が大きいと注意を喚起するのは気を遣う。注意しても伝わらない。言葉を捻じ曲げて別の職員に注意した職員の悪口を言っている。これ以上関わるとこちらのメンタルがやられてしまう。 利用者の尊厳を理解していないと言葉や態度に出る。 利用者の個人情報 (送迎・排泄等) が誰でも見られる場所に置いてある。 一部の利用者に対する態度や言葉がひどいと感じることもある。 特定の利用者に対してある一定の職員がかかわらないのは、虐待に当たらないか? 個人情報を外に持ち出している (報告書 USB メモリー) 人がいる。注意してもやめない。理事長に話したが、変わらない。 あうんの呼吸や目配せを読むことができず目の前のことに没頭してしまう。</p>	

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

職員の声の大きさ、トーン、話す距離にも配慮する。
利用者の尊厳に配慮し、頻回に注意を喚起していく。

事-⑨